

麻しん（はしか）にご注意ください！



- ・麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症です。
- ・近年は、海外で麻しんに感染し、日本国内へ持ち込まれた事例や、それに関連して国内で感染した事例が多く報告されています。

1 麻しん（はしか）の症状は？

- ・症状の経過は3つの期に分けられます。

カタル期：感染後、約10～12日間後に、発熱、咳などが出現。38度前後の発熱が2～4日続き、倦怠感、上気道炎(咳、鼻水、くしゃみ)、結膜炎症状（結膜充血、目やに等）が現れ、次第に強くなります。



発疹期：発疹が現れる1～2日前頃に頬粘膜（口の中の頬の裏側）に1mm程度の小さな白色の斑点（コプリック斑）が出現します。発疹は頸部、前額部から出始め、顔面、体幹、手足に及びます。また、この時期には高熱が続き、症状が強くなります。



回復期：発疹出現後、3～4日間続いた発熱は解熱し、次第に軽快してきます。合併症が無い限り7～10日後には主症状は回復します。

2 感染経路や特徴は？

- ・空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。
- ・感染してから症状が出るまで約10日～12日（最大21日間）あります。感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。
- ・麻しんに対する免疫が十分でない人が感染した場合、修飾麻しん（しゅうしょくましん）といい、潜伏期間が長くなる、高熱が出ないなど、上記の典型的な症状がみられないことがあります。

3 予防するには？

- ・麻しんは感染力が強く、空気感染のため、手洗い、マスクのみでは予防できません。麻しんの予防接種が最も有効な予防法です。
- ・ワクチン定期接種（費用等についてはお住まいの市町窓口までお問い合わせください）
 - 【1期】1歳の1年間（1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで）
 - 【2期】5歳以上7歳未満で、小学校入学前の1年間
- ・ワクチンの任意接種について
麻しんに罹患したことのない方、ワクチン接種歴のない方については、かかりつけ医にご相談ください。



4 麻しんのような症状がある時にはどうすれば？

- ・感染力が非常に強いため、事前に医療機関に電話のうえ、待機場所など医療機関の指示に従って受診してください。



電話連絡のポイント

- ①具体的な症状や経過を伝える、②母子手帳を確認しワクチン接種歴を伝える、③麻しん患者との接触があれば、接触したことを伝える、④海外への渡航歴の有無を伝える。

- ・受診の際は、可能な限り不特定多数と接触しないよう、公共交通機関の利用は避けてください。